

オリエント



2025年 第68巻 第2号

論文

- 『アッカドの呪い』の再考——世界規模の大災害の
封じ込めとしての「呪い」—— カドチニコフ ヤコブ (139)
- 前期古バビロニア時代におけるトゥトゥブ市シン神殿の
貸付事業 眞々田 小太郎 (153)

書評

- 前田徹著『シュメールの王碑文を読む：
前三千年紀の王たちは何を述べたのか』 辻 坂 真 也 (177)
- 中田一郎著『古代マリ王国の政治と宗教：
バビロンに滅ぼされた悲運の王国』 山 田 重 郎 (183)
- 山田重郎著『アッシリア：人類最古の帝国』 青 島 忠 一朗 (191)
- 栗田伸子著『ヌミディア王国：
ローマ帝国の生成と北アフリカ』 佐 藤 育 子 (197)
- 増永理考著『ローマ帝国を生きるギリシア都市：
小アジアにおける文化・経済のダイナミクス』 師 尾 晶 子 (203)
- 城田俊著『ハザール：幻のユダヤ教騎馬民族国家』 浜 田 華 練 (209)
- 久保亮輔著『前近代エジプトにおけるワクフ経営の
ダイナミズム：法学説と現実』 磯 貝 健 一 (215)
- 大稔哲也編『「アラブの春」のアクチュアリティ：
エジプト1月25日革命を中心にみるグローバリ
ゼーション下の日常的抵抗』 鈴 木 恵 美 (221)

特別寄稿

- 永田雄三著『トルコの歴史』を読んで——永田雄三先生の
第8回三笠宮オリエント学術賞受賞に寄せて—— 林 佳世子 (227)

新刊紹介

(233)

追悼

- エジプト学者 吹田浩先生を偲んで 藤井 信之, 肥後 時尚 (243)
- 追悼 大村幸弘博士 松 村 公 仁 (247)

学会だより

(251)